

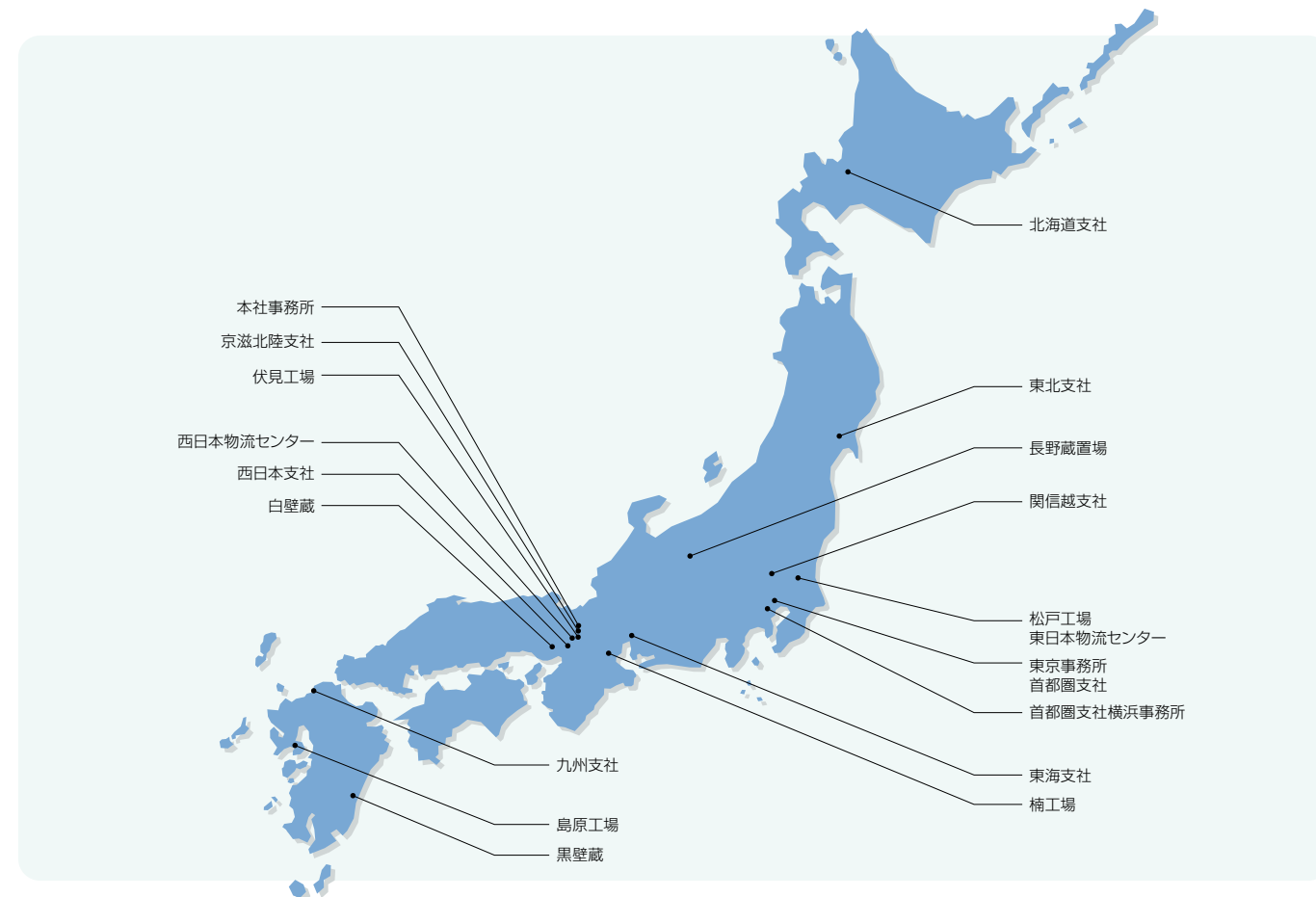
宝酒造株式会社 概要

宝酒造は、持株会社である宝ホールディングス株式会社の傘下において、酒類・酒精（※1）・調味料事業を展開する中核会社として事業活動を展開しています。

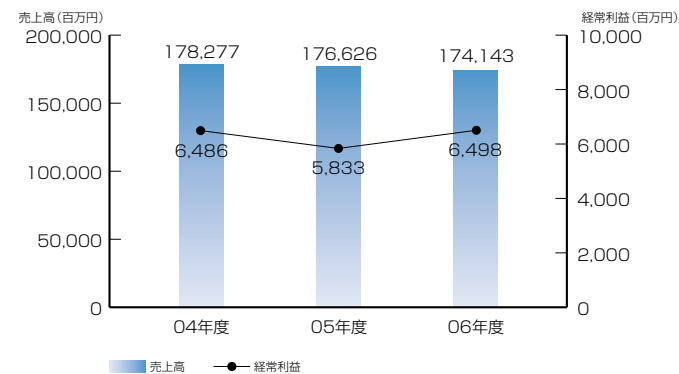
- 主な事業 酒類、酒精、調味料の製造・販売
- 本店所在地 京都市伏見区竹中町609番地
- 設立 2002年4月1日（持株会社体制移行による）
- 資本金 1,000百万円
- 売上高 174,143百万円（※2）
- 経常利益 6,498百万円（※2）
- 従業員 1,357人（2007年3月末）
（2006年3月末…1,416人、2005年3月末…1,474人）

- 決算期 毎年3月31日
- 事業所 ●本社事務所（1） ●東京事務所（1）
●支社（8） ●工場（6）
●蔵置場（1） ●物流センター（2）

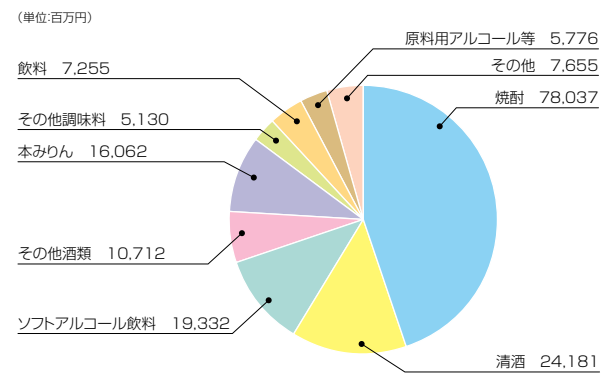
（※1）原料用アルコール製造・販売
（※2）売上高、経常利益については宝酒造グループの連結実績を使用しています。
宝酒造グループ子会社の構成については9ページをご覧ください。



宝酒造グループ 過去3年間の売上高と経常利益の推移



宝酒造グループ 2006年度カテゴリー別売上高



宝酒造の事業紹介

創業以来、伝統を守りながら、時代に合った新しい「おいしさ」をお届けしています。



焼酎



常に新たな市場創造をめざして

長年、焼酎のスペシャリスト企業として培ってきた独自の優れた技術によって、時代が求める焼酎を追求し、市場を創造し続けることで、焼酎市場のさらなる発展に貢献してきました。甲類焼酎では、発売以来30年のロングセラーを続ける「宝焼酎「純」」、スタイリッシュなデザインとまろやかな味わいが特徴の「焼酎「JAPAN」」など、ボトル焼酎の新たなカテゴリーを築いてきました。本格焼酎においては、独自製法による「全量芋焼酎「一刻者」」など、さまざまな原料での造りにこだわった焼酎を発売・育成し、伸長する本格焼酎市場においても確固たる地位を築いています。

清酒



「こだわり」とさらなる高品質を求めて

「松竹梅」は、時代の潮流を読んだ的確なマーケティング戦略により、慶賀・贈答市場におけるトップブランドとして磐石な地位を確立。「よるこびの清酒」として高品質なイメージを守り続け、成長を遂げてきました。また、紙パック市場においても「松竹梅「天」」を発売。差別化した酒質と榊莫山氏作の書画を採用したデザインも好評で、多くのお客様に支持されています。2001年秋には、高品質清酒を製造する「白壁蔵」が完成。「本当に旨くてよい酒とは何か」を徹底的に追求しています。今後も造りや原材料にこだわり、お客様に納得いただける高品質で個性的な商品を提案していきます。

ソフトアルコール飲料



お客様のニーズにお応えするチューハイをご提案

1984年、衝撃的なデビューを飾った「タカラcanチューハイ」。厳選された「焼酎」「果汁」「水」と確かな技術に裏づけられた、こだわりの品質は、お客様からの絶大な支持により発売から20年を超えるロングセラー商品となりました。2006年3月には、「TAKARA「焼酎ハイボール」」を発売。昭和20年代の東京下町で生まれた、チューハイの原点とされる「焼酎ハイボール」の味わいを追求した缶入りチューハイです。食事とともに楽しめるドライな味わいで、お客様の飲用シーンを広げます。そのほか、果汁の産地や搾汁方法にこだわった「タカラCANチューハイ「直搾り」」など、さまざまなお客様のニーズにお応えする高品質商品を開発、育成していきます。